



しんとつかわ 議会だより

2015.6 No.63

CONTENTS

- ◇第1回臨時会……………2
- ◇就任あいさつ・議員活動の抱負……………3
- ◇前4年間に行った一般質問項目……………6
- ◇前4年間の常任委員会の調査活動
議会報告会のまとめ……………8



2015年5月 新しい議会のスタート!

議会構成 決定！！

長谷川秀樹氏 議長に再任
 笹木 正文氏 副議長に新任
 長名 實氏 議会選出監査委員に新任

新たな町特別職を選任

副町長に小林 透氏（前産業振興課長）を選任
 教育長に久保田純史氏（前総務課主幹）を選任

第1回臨時会

4月26日の町議会議員選挙で新たな議会議員が誕生した。新人5人、再任6人による初議会が5月7日に開催され、議長や常任委員会委員さらに一部事務組合議会議員等を選任した。

●議長、副議長の選挙

議長、副議長を志す議員が投票前に所信表明を行い、その内容を聞き選挙を実施した。なお、この選挙は立候補制ではなく、所信表明を行った議員以外を記名してもよい。

長谷川氏の所信

山積する課題を解決するためには、議会の役割は重要である。議会の活性化を図り町の発展を目指したい。

議長選挙結果

・長谷川 秀樹氏 11票

笹木氏の所信

8年間議員として町政に携わり多様な事柄を学ぶことができた。この経験を議会改革などに生かし議会の活性化を推進する。

副議長選挙結果

・笹木 正文氏 10票
 ・安中 経人氏 1票

人事案件

▼議長 長谷川秀樹

▼副議長 笹木 正文

▼総務民生常任委員会

委員長 西内 陽美
 副委員長 小玉 博崇
 委員 長名 實
 笹木 正文
 杉本 初美

▼経済文教常任委員会

委員長 安中 経人
 副委員長 鈴井 康裕
 委員 青田 良一
 白石 昇
 進藤久美子

▼議会運営委員会

委員長 青田 良一
 副委員長 杉本 初美
 委員 西内 陽美
 安中 経人

▼議会広報広聴特別委員会

委員長 笹木 正文
 副委員長 青田 良一
 委員 議長を除く全議員
 この特別委員会は、広報班と議会報告会などの広聴班に分かれて活動し、1年間をかけて特別委員会活動を検証する。

この特別委員会は、広報班と議会報告会などの広聴班に分かれて活動し、1年間をかけて特別委員会活動を検証する。

▼新十津川町農業委員会委員

白石 昇

▼新十津川町監査委員の選任

長名 實

▼新十津川町副町長の選任

小林 透氏
 昭和34年10月16日生

▼新十津川町教育委員会教育長の任命

久保田 純史氏
 昭和37年12月19日生

▼新十津川町教育委員会委員の任命

荒山 直人氏
 昭和37年4月2日生

一部事務組合、広域連合議会

▼西空知広域水道企業団議会 議員 青田 良一
 鈴井 康裕

▼中空知広域市町村圏組合議会 議員 長谷川秀樹
 笹木 正文

▼滝川地区広域消防事務組合議会議員 安中 経人
 小玉 博崇

▼石狩川流域下水道組合議会議員 長谷川秀樹

▼中空知衛生施設組合議会議員 西内 陽美
 進藤久美子

▼空知教育センター組合議会議員 白石 昇

▼空知中部広域連合議会議員 長谷川秀樹
 杉本 初美

▼中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員 長名 實

就任あいさつ



町議会議長

長谷川 秀樹

6月の風が北の大地の草花を揺らす、爽やかな初夏を迎え、町民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、先に行われました新十津川町議会一般選挙におきましては、皆さま方のご厚情を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、私は、この度の平成27年第1回臨時会におきまして、議員皆さまのご支援をいただき、議長に再任されました。改めて議長という責任の重さを感じているところでございますが、新たな5人の仲間と共に、11人の議員が一体となって議会活動に取り組み、開町125年を迎えるこの記念すべき年に、力強く動き出していききたいと思っております。

ろでございます。

今、地方自治体は、地方分権改革のもと、自治体自らの判断において地域の諸問題に取り組み責任が課せられておりますが、二元代表制の一翼を担う町議会の役割も一層大きくなってまいります。

そのため町議会は、行政の監視機能や決議機関としての役割だけではなく、本町の将来に向かって、まちづくり基本条例に定められた「町議会の責務」、「町議会議員の責務」を果たし、引き続き議会改革に取り組みとともに、町民の皆さまと真摯に向き合い、届けられた声を背景に議論し、町民の福祉の向上と町政の発展に寄与していかなければならないと考えます。

私は、議長として、活力のある安全で安心な町の実現に向け、町議会が持てる力を十分発揮できるよう、全力を尽くしてまいります。決意であります。

町民の皆さまにおかれましては、町議会に対し、より一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のごあいさつとさせていただきます。



町議会副議長

笹木 正文

日増しに緑の濃さが増し初夏の香りが漂う中、本町にも心地よい最良の季節がやってきました。4月に町議会議員選挙が行われ、前回無投票だった町議選も今回は選挙戦となり、多くの皆様にご支援をいただき議員の職に就くことができました。心から感謝申し上げます。

5月7日には選挙後初の臨時議会が開かれ、議員各位のご推挙により副議長に就任致しました。自身の器に余る大役でもあり、大変光栄に感じると同時に責任の重さに身の引き締まる思いです。議会においては議長と共に各議員の闊達な議論と円滑な議会運営に努め、職責を全うする所存です。どうぞよろしくお願い致します。

今回の改選では、定員11名のうち半数近くの5名が新人

と入れ替わりました。そのため、今後、新しい多様な意見が加わり議会がより活性化すると思われれます。また、役場内では町長をはじめ理事者3名が入れ替わり、それに伴う管理職の異動もあり、開町125年を迎えた新十津川町の新たな時代を予感します。

その様な中、議会としては町民に対しさまざまな形で発信し、同時に町民の意見を拝聴する努力を続けたいと考えております。町民の皆様には、議会に対する深いご理解と共に、厳しい目で見守っていただきますようお願い致します。

議員活動の抱負



議会運営委員長

青田 良一

私が初めて議会議員に当選

した直後に誕生した近所の子供たち数人が、新1年生になりました。真新しいランドセルをカタコト、カタコトと鳴らしながら元気いっぱいに通学しています。新しい友達や給食のことを、目をキラキラさせて説明してくれます。小学校生活の楽しさが伝わってくる貴重な時間であるとともに、この子たちの交流範囲が着実に広がっていき、徐々に「おじさん」が遊びの対象でなくなっていくといった寂しさを感じています。しかし、遊んでもらえなくても「おじさん」はこれからもあなたたちの成長を応援していきますよ。このまちに生まれてくれてありがとう。このまちで勉強してくれてありがとう。という気持ちを大事に、子どもたちの遊びや学習環境の整備に努めていきます。

また、高齢化に対応した介護等の福祉施策や、人口減少社会への的確な対応も重要な課題です。自己研鑽を重ね、重要な一票の重荷を忘れず、議員活動を全うしたいと思っております。



総務民生常任委員長

西内 陽美

前任期に引き続き、「見て、聴いて、動く」をモットーに、町民の皆様のご意見を議会につなぐ議員であろうと決意を新たにしているところです。

少子高齢化・人口減少の途をたどり町財政も決して樂觀視できるものではありませんが、子どもがのびのび育つ環境、子育ての喜びを実感できるまち、安心して年を重ねられる仕組みづくりなど、譲れないものが多々あります。10年、20年後を見据えた議論を重ね、次世代に誇れるまちを目指すことで私の職責を果たしたいと考えております。

また、常任委員会の改選により、「総務課」「住民課」「保健福祉課」「会計課」を所管する総務民生常任委員長に就任いたしました。各委員が町民の皆様の意見やまちの課題を精査し、活発な協議ができ

る委員会となるよう、その運営に誠心誠意力を尽くす所存です。
町民の皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



経済文教常任委員長

安中 経人

初めて議会に籍を置いてから四年、再び経済文教常任委員を務めることになりました。今までの経験を生かし、少しでも良い町づくりを目指し、微力ながら頑張りたいと考えております。皆様のご指導をよろしく願います。

さて、少子高齢化社会は、わが町だけではなく全国的な傾向であり、大きな課題としてのしかかっております。わが町が存続していくために、この共通課題にどのように取り組んでいくか、待ったなしの状況下であります。

まずは、生産産業である農業の位置付けが最も重要です。魅力ある農業として、担い手をどのように育成、定着させるかが重要であると感じております。私は、この成否が商工業にも連動し、働く場の提供や定住人口の維持がなされるものと信じております。そのためには、議会に対する町民の皆さんの協力がぜひ必要です。忌憚のないご意見をよろしくお願い申し上げます。



新十津川町監査委員

長名 實

このほどの地方統一選挙で新人議員5名が当選しました。3人の女性議員が誕生したことになり、女性の活躍を課題としている安倍政権の考えを先取りした議会構成となりました。議長会長に任せられた私としては、議会でも

女性の声を大いに反映させた研修会、交流事業を推進していきたいと思えます。

さて、今回の地方統一選挙で話題となった一つに投票率の低下があります。選挙そのものの関心が低くなってしまっているのが懸念です。投票所が減少していることが続けば、民主主義の仕組みが危うくなってしまいます。

本町も投票率が低下しました。行政区によっても投票率の差が見られますが、今後の選挙からは行政区ごとの投票率を公表してはどうかと考えます。競争心をあおめるのではなく、議会制民主主義を堅持する意識の高揚に資することになればとの思いから提案してみました。

本町が直面するさまざまな問題を、町民の皆様とともに考えていきたと思っておりますので、ご指導ご支援をよろしく願います。



白石 昇議員

故郷の山を見るたびに、ここに生まれてここに住んでよかったと、安らぎを覚えます。そんな花月地区から町議会議員の議席が失われるぎりぎりのところで立直し、皆様のお力により議席を確保することができました。

この町の基幹産業である農業はウルグアイラウンドの痛手を受け、さらに、見えないTPPに脅かされ農業は弱体化を余儀なくされそうです。この町を元気にしていきたい、そんな思いで都市と農村の交流や修学旅行の農業体験などの事業に取り組み、農業と商業、工業が一体化した活力ある町づくりに取り組んでまいります。

新十津川町二百年に向かって失ってはならないもの、形を変えてでも残すべきものをしっかりと守るつもりです。子どもの明るい声が聞こえ

て、若者が活発に働き、お年寄りが地域の宝とたたえられ、町づくりを目指し、与えられた議席で120%働き、ピンネシリの見える故郷のある町の未来に夢を託して、さあ、今日から前進します。



杉本 初美議員

この度、突然でありました
が別世界であるかの様な場へと挑戦させていただきました、町民の皆様方の温かいご支援を賜わり町議会議員に初当選させていただきました。深く感謝申し上げます。ありがとうございます。改めてご支援してくださいました町民の皆様方の声の大きさ、重要さに深く責任を感じているところでございます。

さて、今の業界（理容）とは違い全く未知な事ではあります。すでにいくつか課題が見えてきています。当選さ

せていただいた以上、一議員として地域の皆さん、町民の皆さんの声を大切に、お役に立てるよう町政の扉を開き、議会、委員会、そして日々の議員活動に前向きに取り組みたいと思っております。そして助け合い、支え合いながら明るく元気な町づくりに本音で取り組み、輝く新十津川の町になるように努力したいと思っております。

今後とも町民の皆様方のご支援ご指導ご協力をよろしく
お願い致します。



鈴木 康裕議員

初議会が終わって間もなく、
議会事務局より宿題を出されました。議会だよりに掲載するので、抱負を400字程度に
まとめ十日後に提出の事、
トラクターで代掻きをしながら
ら思いを巡らせてみました。
町議会議員を目指しました

のは、第一に地域の方々の推薦、支持をいただいたことがその要因ですが、7年半の教育委員の活動の中で限界を感じていた時期もありました。

そのような悩みを抱えていたときに、議員になりなさいとアドバイスをしてくださった方が複数いらっしゃいました。当時はその意図されるところが理解できず、気に留めていなかったのですが、今となつては貴重な助言をいただいたと思っております。

私は選挙で397人の方から投票をしていただきました。稲作農家らしく「きらら397」と同じ数の票数だったのは感慨深いものがありますが、町民の皆様ひとりひとりの想いを町政に反映できるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



進藤久美子議員

このたびの町議会議員選挙において、町民の皆様のご支援ご指示をいただき、日本共産党の議席を引き継がせていただきました。

樋坂前議員が築いてきた「町人こそ主人公」を貫き、「身近な相談相手」として誰からも声をかけてもらえる議員となり、町民が安心して住み続けるまちづくりを目指し全力を尽くしてまいります。

特に、町民目線を大事にしつつ、一般質問や調査活動を通じ公約実現に向け努力したいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしく
お願い申し上げます。



小玉 博宗議員

選挙への出馬、そして、多くの皆様のご支援により初当選。人生初の選挙は、私にとって感謝と感動の一幕でした。「人の役に立ちたい」

と福祉を志し、新十津川町に来て22年。多くの出会い、経験を積み重ねていただき、いつしか「町のために事を成したい」という思いが生まれてきました。この度、そのことを実践できる立場に立たせていただいたことに心から感謝し、頑張つて参ります。

さて、私が勉強させていただいている福祉の主人公は「人」です。人が地域をつくり、町をつくる。私が最も危機感を持つことが「人とのつながりの崩壊」です。現代社会の「新たな貧困」は、お金ではなく、人とのつながりがなくなる「孤独」と言われています。現在、わが町の地域を支えているのは、つながりの大切さを知っている世代。今、私達の世代がそのタスキを受け継ぎ始めなければ、次の世代には地域は存在しないかもしれません。「志高く」、私ひとりの力は微力ですが、皆様の力を結集し、新十津川の地域を守り、まちを創っていきます。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

一般質問項目 (平成23年6月～27年3月)

開催月	質問者	質問
25年3月	山田	読書活動の成果は
6月	樋坂	学童保育の必要性を調査しては
		保育園での延長保育は
		民間の院内保育所に支援を
	今後の公共事業計画は	
青田	学校行事での国家斉唱のあり方	
	町有地の管理が不十分では	
9月	西内	空き家バンク事業の導入は
		市民後見人や認知症サポーター養成研修の開設を
		ふるさと寄附金のお礼に特産品を贈呈しては
	樋坂	生活保護法改正に伴う影響は
		命の大切さを教える機会を作っては
		福祉灯油の実施基準の見直しを
12月	安中	国の農業政策転換をどう捉えるか
	樋坂	放課後児童クラブの方向性は
		学童クラブとの相違は
		後期高齢者の検診受診率向上策は
	西内	町民アンケートに見る課題解決方策は
		来年度予算編成への考えは
26年3月	西内	土地・住宅情報を公開し流通を促進しては
		見守り支援事業の現況と今後の計画は
		災害時の非難支援と防災資機材の分散化を
	青田	役場庁舎の耐震化工事への対応は
		子どもいじめ防止基本方針策定に町民の声を
		子どもの命名について
	樋坂	介護保険制度改革による影響は
		国の農政改革による影響は

開催月	質問者	質問
26年3月	樋坂	子どもいじめ防止基本方針に、勇気ある子どもを育てる取組みを
6月	後木	新十津川町のPRに「新十津川物語」の再放送を
	西内	病児・病後児保育事業実施の可能性は
		和食で食育と地産地消を
		子宮頸がんワクチン接種の中止を
	樋坂	教育委員会制度改正法案についての考えは
	農業委員会制度廃止を含めた抜本的計画の実態は	
9月	青田	全国学力テスト結果が公表されたが、本町の成績改善は
		菊水公園と中央公園を統合し、「開拓」「歴史」等の名称を取り入れた公園名にしては
	西内	除雪施策の充実はどう取り組むか
		住民と行政の協働による雪対策は
	樋坂	グリーンパークの温泉使用に関する契約書の公開を
		生産者米価の下落に町の方針は
乳幼児健診の未受診者への対応は		
12月	青田	青葉区の農業改良普及所跡地の利用計画を
		町民が等しく新米を食する仕組み作りを
	西内	放課後児童対策をどう進めるか
	樋坂	今冬も福祉灯油は実施するのか
笹木	次期町長選挙に再度出馬を要請	
27年3月	樋坂	医療費無料化を高校生までに
		ピロリ菌と胃がん対策の充実を
		高齢者の安全運転対策は
		グリーンパークへのバス運行と入浴券の発行をしては
	青田	次期町長に託す行政課題は
		変化する青少年の問題行動への対応は

4年間の定例会で行った

開催月	質問者	質問
23年6月	樋坂	原子力発電所の廃止を
		役場庁舎にエレベーターを
		農業担い手に生活費の支援を
	青田	東日本大震災への支援拡大を 「生きる力を育む学校づくり推進事業」とは
	後木	議場と傍聴席の改修を
9月	西内	発達障がい児に対応できる保育士やアドバイザーの常設は
	後木	原発依存からの脱却を、政府に訴えることが必要では
	樋坂	学習サポート事業「やまびこ」の成果は
		若年層へ居住地提供を
		災害被災者の受入対応は
	笹木	住宅耐震化を含めたりフォームに助成を
12月	西永	本町独自の商工業者対策を
	樋坂	公営住宅建設の継続を
		農業振興公社設立は不必要では
	西内	超高齢化社会に備えた施策を
レクリエーションワーカー養成事業の充実を		
24年3月	安中	新規就農者への支援は
	青田	人口減少がもたらす住民生活への影響は
		本町の学級崩壊や兆候は
	後木	心を鍛える方策は
		町民の声を町政に活かしているか
	樋坂	幼保一元化を目指すのか
	山田	中学校の武道必修化の体制は
		旧宮前区会館を水害時の避難所として存続しては
6月	青田	節電への対応は
	樋坂	地震時の上下水道は安全か

開催月	質問者	質問
24年6月	樋坂	土砂崩れや地すべり危険箇所の点検は
		P T A会費の使われ方は
9月	樋坂	医療費の無料化拡大を
		学校給食費を無料に
		自然エネルギー施策を
	西内	地域防災強化策は
		町の審議会の公開は
		親水施設の設置は
		全国的ないじめ問題への考えは
		後木
	笹木	空き地・空き家の対策は
12月	樋坂	国からの復興予算を返還しては
		シルバー人材センターの内容は
	青田	行政の文化化向上を期待する
	安中	虫歯予防に「フッ化物洗口」を取り入れては
	西内	計画停電時の事業所や他市町との協定は
スクールバスの安全対策は		
25年3月	西内	役場庁舎の耐震化改修は
		東日本被災地への間接的支援は
		学校図書室へ司書を配備しては
	樋坂	定住促進対策について
		新十津川駅を活用し観光客誘致を
		中学校部活動へ支援を
	後木	十津川村剣士を招き剣道交流を
		町民の食育について
空き家からの部材活用を		
青田	人口減少社会に対応するプロジェクトチームを組織しては	
平澤	旧大和小学校跡地利用について	
	旧行政区会館の今後の対応について	
山田	公住改修時の仮住居は	

常任委員会 4年間の 調査活動

総務民生常任委員会

【総務課】

現地調査

- ・大和区自治会館改修

調査事項

- ・役場庁舎等公共施設耐震化
- ・地域防災計画の現状と検証
- ・新十津川消防団の活動
- ・地域公共交通再編後の高校生
の通学手段

【住民課】

現地調査

- ・空き地・空き家の視察
- ・産業廃棄物処理施設
- ・一般廃棄物処理施設

調査事項

- ・固定資産の課税基準
- ・消融雪機器設置費助成事業
の効果及び今後の対応

【保健福祉課】

現地調査

- ・あざれあ工房の活動状況

調査事項

- ・新十津川町社会福祉協議会
の運営及び活動
- ・子育て支援政策
- ・乳幼児等の医療
- ・高齢者等の地域生活支援

経済文教常任委員会

【建設課】

現地調査

- ・徳富ダム

調査事項

- ・町道土学線、樺戸川、
樺戸境川の災害復旧工事
- ・弥生西3線排水路改修
- ・錦野団地内舗装改修
- ・開拓記念館耐震改修
- ・みどり町有地堆雪場

調査事項

- ・林道北美沢線、奥幌加沢川
支流、栃谷川の被災状況
- ・武道場建設計画

【産業振興課】

調査事項

- ・農産物のブランド化
- ・農地中間管理事業

【教育委員会】

現地調査

- ・新十津川中学校における特
別支援教育
- ・給食センターの安全対策

調査事項

- ・小中学校における特別支援
教育
- ・そっち岳スキー場の運営状
況

議会報告会まとめ

平成23年度

- ・1行政区で試行開催

参加者

35人

平成24年度

- ・11行政区で開催

議員全員で出席

参加者

339人

平成25年度

- ・11行政区で開催

議員二班集体で出席

参加者

195人

平成26年度

- ・11行政区で開催

議員二班集体で出席

参加者

192人

- ・団体との意見交換会
議員全員で出席

女性団体

33人

農業団体

24人

商工業団体

24人

各行政区で開催した「議会報告会」での意見要望等の中

で調査を要した件は、後日、

各区長を通じ回答した。

団体との意見交換会は、「人

口減少抑制」をテーマに、さ

まざまな視点での意見が出さ

れた。

議会広報編集に携わり8年が過ぎました。この間、町民の皆様にご協力いただき、町民の皆様にできるだけ平易な文章での確かな情報提供に努めてきたつもりですが、完成されたものを読むと反省の念に苛まれます。

この広報は臨時号として発行しますが、新たな議員の抱負等に加え、前4年間の議会及び議員の活動をまとめ報告することになりました。

町民の関心が深い一般質問は、紙面の都合上、町長や教育長の答弁内容は略させていただきます。この質問項目の中から実施されたものもあります。保留となっているものは、今後の選挙で当選された新しい議員に引き継がれることとなります。

また、行政執行の詳細を調査する権限を付与されている議員として、実施した「調査事項」、さらに、議会活動内容を紹介したり、町民の声を聴くために開催した議会報告会の主な項目も掲載しましたのでご覧ください。

前広報特別委員会委員長

青田 良一